

# 平成24年度事業計画

(平成24年4月1日ー平成25年3月31日)

## I. 定期学術集会・総会の開催

第59回日本実験動物学会総会を下記のとおり開催する。

会期：平成24年5月24日(木)～26日(土)  
会場：別府国際コンベンションセンター  
会長：浦野 徹(熊本大学生命資源研究・支援センター)  
参加者：約1,000名を予定

## II. 通常総会、理事会、理事評議員懇談会の開催

通常総会(1回)、理事会(2回)、理事評議員懇談会(1回)を開催する。

## III. 定期刊行物の発行

機関誌「Experimental Animals」および「実験動物ニュース」を下記のとおり発行し、会員に希望配布する。

発行年月日	巻	号	備考
平成24年4月1日	61	2	
平成24年5月1日	61	3	サブメント号(電子配信)
平成24年7月1日	61	4	
平成24年10月1日	61	5	
平成25年1月1日	62	1	

## IV. 研究の奨励、業績の表彰

(1) 第24回学会賞受賞者を表彰する。

1) 功労賞(2名)

朱宮正剛

西村正彦

2) 安東・田嶋賞(1名)

岩倉洋一郎(東京大学医科学研究所システム疾患モデル研究センター)

「発生工学手法による疾患モデルの作製と発症機構の解析」

3) 奨励賞(1名)

竹尾 透(熊本大学生命資源研究・支援センター)

「C57BL/6 マウス精子の凍結保存に関する研究」

4) 2011年 Experimental Animals 最優秀論文賞(2編)

庫本高志、桑村 充、田上 史、真下知士、能勢真人、芹川忠夫

「ENU ミュータジェネシス由来の Kyoto rhino ラットは先天性脱毛と巣状糸球体硬化症を示す」

奥村 仁、宮坂勇輝、森田由香、野村智幸、三嶋行雄、高橋 姿、木南 凌

「*Bcl11b* ヘテロ遺伝子型はマウスに加齢性難聴と蝸牛外有毛細胞の変性をもたらす」

(2) 2011 年および 2010 年日本実験動物学会国際賞の表彰を行う。

2011 年受賞者 (7 名)

中国 : Xu Lili  
台湾 : Ming-Hong Lin  
韓国 : Eui Suk Jeong  
マレーシア : Hafandi bin Ahmad  
フィリピン : Frances Margarete Tamayo  
シンガポール : Shih Wee Seow  
タイ : Panan Suntornsaratoon

2010 年受賞者 (3 名)

マレーシア : Nur Hidayu Mazlan  
フィリピン : Laarni T. Tuason  
シンガポール : Ho Saey Tuan Barnabas

(3) 第 25 回日本実験動物学会功労賞、安東・田嶋賞ならびに奨励賞の推薦受付、選考を行う。

(4) 2012 年 Experimental Animals 最優秀論文賞の選考を行う。

(5) 2012 年日本実験動物学会国際賞の選考を行う。

## V. 委員会等の活動

下記の委員会および必要なワーキンググループを設置し、それぞれの目的に応じた活動を実施する。

- a. 編集委員会
- b. 学術集会委員会
- c. 財務特別委員会
- d. 国際交流委員会
- e. 広報委員会
- f. 動物福祉・倫理委員会
- g. 定款・細則・規程等検討委員会
- h. 実験動物感染症対策委員会
- i. 教育研修委員会

## VI. 関連学協会との連携

- (1) 日本学術会議の活動に協力する。
- (2) 国内の関連学会・協会との学術・情報交換を進め、その活動に協力する。
- (3) 国際実験動物科学会議 (ICLAS) およびアジア実験動物学会連合 (AFLAS) における活動を継続する。
- (4) 米国実験動物学会 (AALAS) など、海外関連学協会との学術・情報交流を推進する。
- (5) 公益財団法人実験動物中央研究所 ICLAS モニタリングセンターおよび日本動物実験代替法評価センターの活動に協力する。

## VII. その他

- (1) 平成 24 年度維持会員懇談会を実施する。(財務特別委員会)
- (2) 秋季学術シンポジウムの開催を企画する。(学術集会委員会)
- (3) LAS セミナーおよび特別ワークショップを開催する。(教育研修委員会)
- (4) 実験動物管理者の研修に関する企画を実施する。